

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業

### 信州高遠自然みつけ隊～初夏編～

平成29年6月3日(土)～4日(日)

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

#### ～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空・動物といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した環境・設備を生かし、子供達に豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

#### ～主催～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

#### ～活動日程～

時								13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
6月3日(土)	13:00～13:30 受付 13:30～ 開会式							受付・開会式	アイスブレイク	散歩	クラフト ネイチャー	夕飯のつどい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝	
時	6	7	8	9	10	11	12											
6月4日(日)	起床	朝のつどい	朝食	荷物整理	自然観察	食文化体験	郷土の 閉会式・解散	12:00～12:30 閉会式 12:30～ 解散										

#### ～参加者～

11家族(大人：13名、小学生：18名、幼児：1名) 計：32名

(長野県、山梨県、愛知県、東京都)

#### ～活動トピックス～

##### 活動Ⅰ クラフト活動

「自然素材でお家の守り神を作ろう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺の硫黄沢遊歩道で散歩をしながらみつけた自然素材(葉や枝、松ぼっくり)を使って、世界で一つだけの守り神を作った。個性豊かな作品がいっぱい誕生し、できあがった守り神をみんなで鑑賞した。





## 活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

300mmや128mmの天体望遠鏡を使って月のクレーターや木星の縞や衛星を見たり、プラネタリウムで春の星座や宇宙についての説明を聞いたりした。



## 活動Ⅲ 野鳥観察

講師：信州高遠青少年自然の家 野鳥観察指導員

双眼鏡の使い方やピントの合わせ方を指導員の先生に教わってから、高遠の豊かな森の中を歩いた。スマートなキセキレイ、声の美しいホオジロ、巣から顔をのぞかせたキビタキなどを観察することができた。



## 活動Ⅳ 郷土の食文化体験

「寒天を使って白玉クリームあんみつを作ろう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

信州の気候を生かした特産物の寒天について、原料の海藻「天草」を手にとってみたり、できるまでの流れの写真を見たりして学んだ。加工前の天草と棒寒天を見比べてから薪を燃やして棒寒天を煮溶かした後、冷やしてさいの目に切った。こねて茹でた白玉・フルーツ・アイスクリーム・あんこをお好みでのせて、最後に黒蜜をかけた初夏の季節にぴったりのおやつを作って食べた。

## ～参加者の声～

- ・自然の中で普段できない体験ができ、子供も大人もとても楽しむことができた。野鳥観察では鳥の巣も見ることもできたし、セキレイがあんなにきれいな鳥だと初めて知ることができた。
- ・体験することが本当に良いということを感じた。
- ・星空観察や野鳥観察の指導員の先生方の専門的な話がとてもおもしろかった。
- ・高遠のことや寒天が諏訪地方の名産など新しい気づきもあり、大満足の内容だった。
- ・子供達もすぐ友達ができ2日間楽しく過ごせた。ぜひまた違う季節に参加したい。

## ～成果と課題～

- 自然散策で集めた木の枝や葉などの材料を使ったクラフト活動や大口径の望遠鏡を使った星空観察、野鳥観察指導員による自然の家周辺の野鳥や樹木についての話、寒天作りなど普段の家庭生活ではできない非日常の体験を提供することができた。
- 同じグループで活動をしたり、宿泊棟で生活をしたりしたことで、自由時間に子供同士で遊んだり、大人同士でも楽しく話をしたりしている場面も見ることができた。
- 初めて施設を利用する参加者が多かったため、事前にシーツの使い方から後片付けの仕方などの施設利用に関する説明をもっと丁寧にする必要を感じた。
- 6月の第1週末は深緑の季節で、草花も比較的多く見られたのは良かったが、梅雨に入る時期なので、天候が心配である。また、学校行事の時期とも重なるため日程に関して考慮が必要である。

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業 信州高遠自然みつげ隊～秋編～

平成29年10月8日(日)～9日(月・祝)

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空・動物といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した環境・設備を生かし、子供達に豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

### ～主催～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

### ～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10月8日(日)	13:00～13:30 受付 13:30～ 開会式	受付・開会式	ネイチャーゲーム 散策	木のペンダント作り	クラフト活動	夕飯のつごい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝
時	6	7	8	9	10	11	12				
10月9日(月・祝)	起床	朝のつごい 朝食	荷物整理	きのこ観察	(野外調理) 楽しもう!	秋の味覚を	閉会式・解散	12:00～12:30 閉会式 12:30～ 解散			

### ～参加者～

10家族(大人:13名、小学生:13名、幼児:2名) 計:28名

(長野県、愛知県、東京都)

### ～活動トピックス～

#### 活動Ⅰ 散策・オリジナルの木のペンダント作り

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺を散策しながら葉っぱ等を使ったネイチャーゲームを行った後、オリジナルの木のペンダント作りを行った。ペンダント作りでは「さくら」「からまつ」「白樺」の材料から、自分たちでのこぎりを使い切り出し、オリジナルのペンダントを作成した。木の年輪を生かした絵や輪切りの形を生かした作品など素敵なペンダントとなった。



## 活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

128mmの天体望遠鏡と双眼鏡を使って土星の輪やアンドロメダ星雲などの星空を観察したり、プラネタリウムで秋の星座や宇宙についての説明を聞いたりした。



## 活動Ⅲ きのこと観察

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員

所内を散策しながら、自生している「きのこ」の観察を行った。見つけたきのこの名前やどんな特徴を持っているかなど、指導員の説明を聞きながら観察を行った。今年はきのこの自生が少なかったが、子供達は林の中や枯葉の下などをよく観察し、たくさんの種類のきのこを見つけ、指導員からの説明に聞き入っていた。



## 活動Ⅳ 野外調理

「秋の味覚を楽しもう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

秋の味覚「きのこ」をたっぷり入れた「きのこうどん」をつくった。今回、伊那市にある「きのこ王国」の協力をいただき、きのこの菌床をお借りし、菌床から生えているきのこを収穫する体験も行った。参加者からは「みんなと協力して調理することができた。きのこがたくさん入っていて美味しかった。」などの声が聞かれた。



### ～参加者の声～

- 子供の興味や関心を広げるきっかけになった。生活面の自立や他者との協力も大切なことと感じた。
- 秋を感じられる内容で楽しく活動することができた。ペンダント作りの際に子供が真剣にのこぎりで木を切る顔が印象的だった。
- 土星の輪やアンドロメダ星雲などをみることができ感動した。星空観察の先生のお話も楽しく分かりやすかった。
- 親子で山道を歩き、たくさんの種類のきのこを見つけることができた。先生の説明も楽しかった。

### ～成果と課題～

- ペンダント作りの際に3種類の木から選び、好みの大きさにのこぎりを使って切り出す活動を組み込んだ。参加家族からも子供がのこぎりを使う機会が少ないため貴重な機会になったとの感想が聞かれ満足度の高いものとなったと考える。
- ペンダント作りの活動グループ、野外調理のグループを同一のグループ分けにしたことで、食事の時や休憩時間に一緒に遊ぶ場面が見られ、野外調理の際は積極的に会話する場面が見られた。家族間での交流の機会につながったと考える。
- 今回は2日間天候に恵まれたが、荒天時の際に屋内でも「自然」「季節」を感じることができるようプログラムの検討が課題と考える。
- 本事業は年度当初に「自然みつけ隊」として募集を行っている。キャンセルを考慮定員よりも多く受付を行っているが、2週間前を過ぎてからのキャンセルが多くあった。次年度以降、募集時期を半期毎にするなど募集方法の検討が必要と考える。

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業

### 信州高遠自然みつ隊～晩冬編～

平成30年2月24日(土)～25日(日)

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

#### ～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空・動物といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した環境・設備を生かし、子供達に豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

#### ～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

#### ～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
2月24日(土)	13:00～13:30 13:30～	受付・開会式	アイスブレイク	そり遊び	ト作り 鹿の角のペンダント	クラフト活動 タベのつどい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝
2月25日(日)	起床	朝のつどい	朝食	荷物整理	トラッキング	アニマル	(おやつ作り)	冬ごもりおやつ を楽しもう!	閉会式・解散		
						12:00～12:30 12:30～	閉会式 解散				

#### ～参加者～

6家族(大人:10名、小学生:7名、幼児:1名) 計:18名

(長野県、愛知県、東京都)

#### ～活動トピックス～

##### 活動Ⅰ そり遊び・鹿の角のペンダント作り

講師:信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家のそりコース100mと120mを使用し、みんなでたっぷり滑って楽しんだ後、鹿の角のペンダント作りを行った。1年かけて集めた鹿の角から、自分たちでのこぎりを使い先端を切り取ったり、輪切りにしたりして、世界でたった一つのペンダントを作成した。自分で作ることに喜びに加え、自然・動物を身近に感じることができた活動となった。





## 活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員  
300mmや128mmの天体望遠鏡を使ってオリオン大星雲(M42)や月を見たり、プラネタリウムで冬の星座や宇宙についての説明を聞いたりした。

## 活動Ⅲ アニマルトラッキング

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員  
自然観察指導員の方と一緒に雪の森の中を進み、動物たちの痕跡をたくさん発見した。うさぎや鹿、イタチ、タヌキの足跡や糞、食痕などを観察することができた。



## 活動Ⅳ おやつ作り

### 「冬ごもりおやつを楽しもう！！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア  
アイスクリームと長野県が全国第2位の生産量を誇る地場フルーツのリンゴを使った「焼きリンゴ」を作った。リンゴをダッチオーブンにセットして焼いている間にアイスクリーム作りに挑戦！ペットボトルに材料を入れ、雪を詰めたビニール袋で包んで、ボール状にしたら、外へ出て雪の上でキックしたり、坂で転がしたりして遊びながらアイスクリームを作り食べた。焼きリンゴは串で刺すとスーッとはいくら柔らかくなり、参加者からは「遊びと食が融合した楽しいおやつ作りで、素晴らしい。」などの声が聞かれた。

### ～参加者の声～

- なかなか冬の山の中を歩く機会がないので、アニマルトラッキングで歩くことができて良かった。
- 鹿の角に触れたり、クラフト活動でペンダントが作れたりして、家に帰ってからもズーッと良い思い出になるので良かった。
- 星空観察や自然観察の指導員の先生方のお話で、子供より大人の方が興味津々になった。
- 鹿の角のペンダント作りでは、獣臭くなったのも含めて大変楽しかった。
- 焼きリンゴとアイスクリームの相性も良く、おいしかった

### ～成果と課題～

- 冬の自然の家での活動のそり遊びや鹿の角を使ったクラフト活動、大口径の望遠鏡を使った星空観察、自然観察指導員による動物の痕跡や糞についての話、ダッチオーブンや遊びを取り入れたおやつ作りなど普段の家庭生活ではできない非日常の体験を提供することができた。
- 他の参加者との交流もねらいとしていたが、「他県の友達ができた。」という感想が聞かれたり、大人同士でも親しく話をしたりしている場面を見ることができたりして、今回の事業のねらいが達成できたといえる。
- 事業の直近になってからのキャンセルが多くあった。キャンセルを考え定員よりも多く受付ていたが、2月という時期を考えるとインフルエンザ等も考慮して、直近での追加募集をするなど臨機応変に対応する必要があると考える。